

補助事業番号 22-2-064
補助事業名 平成22年度 在宅介護活動の研修等 補助事業
補助事業者名 公益財団法人 さわやか福祉財団

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

急速な少子高齢社会の到来に伴い、高齢者の一人暮らしや高齢世帯が増えている。老いてもなお住み慣れた地域で安心して暮らしていける社会を構築するためには、相互扶助を目的とした市民互助団体が全国に数多くできることが必要である。

そのために、変化する福祉の動向に伴った①市民互助団体の少ない地域への掘り起こしを目指す「地域ささえあい研修会」②人と人とが精神的に交流し、その中で主体的に交わることにより、自分を生かしながら過ごせる場所「ふれあいの居場所推進者のための研修会」③インストラクターの資質向上を目指した補講研修及び養成研修④情報、ノウハウの提供、意識の啓発および参加促進を働きかける冊子を作成する。こうした提起を繰り返し行うことで、必要な改善・改革を進め、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容

ア. ボランティア団体の責任者・設立指導者の研修会の開催

A) 地域たすけあいリーダー研修会の開催（地域ささえあい研修会）

全国で10回開催。

B) ふれあいの居場所推進者のための研修会

全国で13回開催。

C) インストラクター研修会の開催

全国で17回開催。

イ. 地域助け合いシステムづくりに向けた情報誌発行

月刊で12号（各10,000部）の発行。

2. 予想される事業実施効果

ア. ボランティア団体の責任者・設立指導者の研修会の開催

今年度は「地域ささえあい研修会」は10回開催することができた。延べ735名の参加者があり、反響も多く寄せられた。特に、市民団体の少ない地域や、新しい活動を視野に入れた参加者も多く、参加された方の中から、市民団体を立ち上げも30数件に上った。今後も引き続き全国各地に市民団体が立ち上がると予想される。また、ふれあいの居場所勉強会も全国13会場で行うことができたのは、地域において、誰でもが気軽に集える場所づくりが求められている背景と考えられる。

今後も、インストラクターと連携し支援を継続していきたい。

さらに、インストラクターの研修では、新たに9名の候補者に委嘱することができた。今後は、13ブロックが自立し、財団との協働連携を行うことにより、より、充実した地域活動の展開が期待できる。

イ. 地域助け合いシステムづくりに向けた情報誌発行

読者の性別、年齢、職業、地域等も多岐にわたるため、読者ニーズを満たすことは

難しい。毎号寄せられる読者アンケートやトークアンケート等多くの反響を得て、紙面を通じて発表するなど、ボランティア活動現場で参考書、啓発書としての使用実績等、期待した効果が得られた。

3. 本事業により作成した印刷物

問題提起型情報誌「さあ、言おう」を月刊で12号（各10,000）の発行

4. 事業内容についての問い合わせ

団体名：公益財団法人 さわやか福祉財団

住所：105-0011

東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館7階

代表者名：理事長 堀田 力

担当部署：ふれあい推進事業

担当者名：プロジェクトリーダー 木原 勇

電話番号：03-5470-7751

F A X：03-5470-7755

E-mail：kihara@sawayakazaidan.or.jp

U R L：<http://www.sawayakazaidan.or.jp>